

萩 地 域

- 萩市
- 長門市
- 阿武町



萩市における「やまぐち型地域連携教育」推進構想

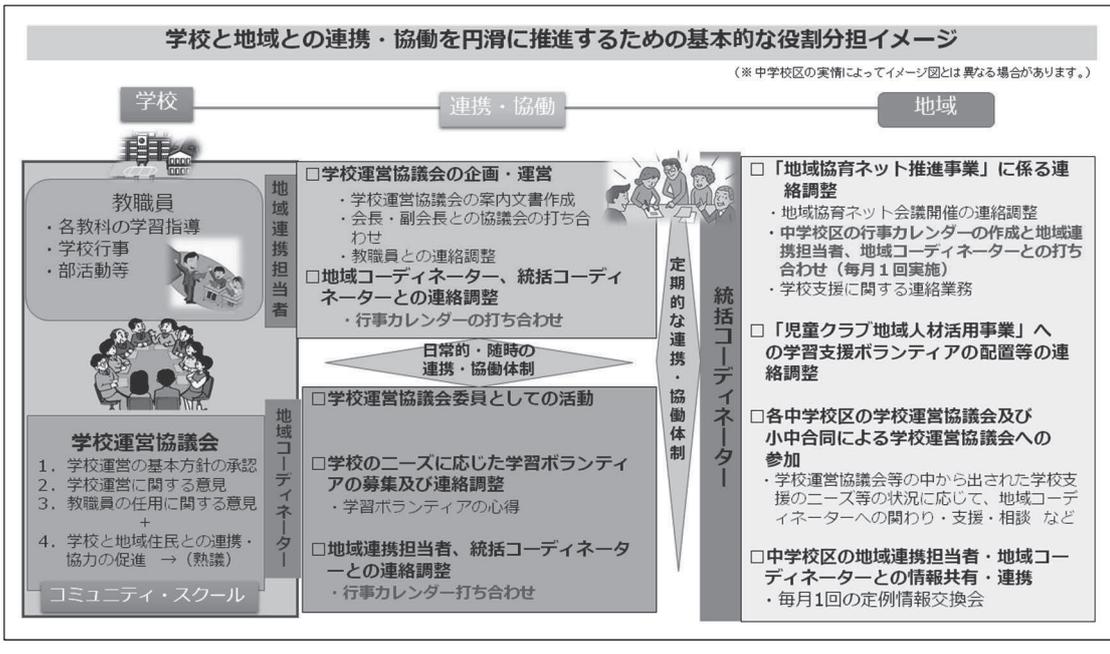
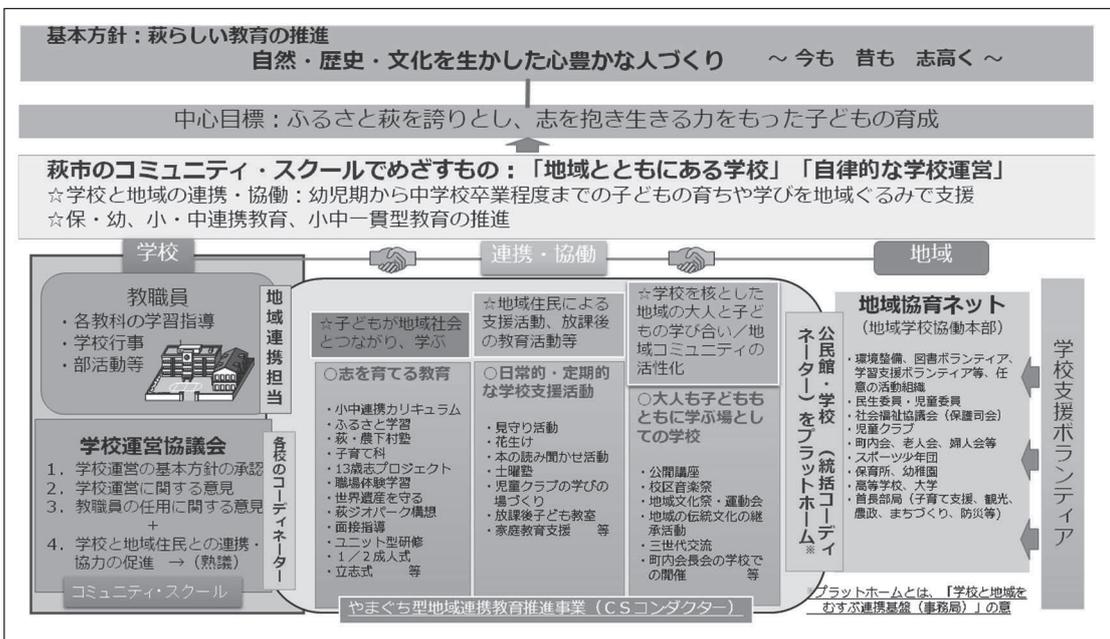
① 基本方針

萩らしい教育の推進

自然・歴史・文化を生かした心豊かな人づくり

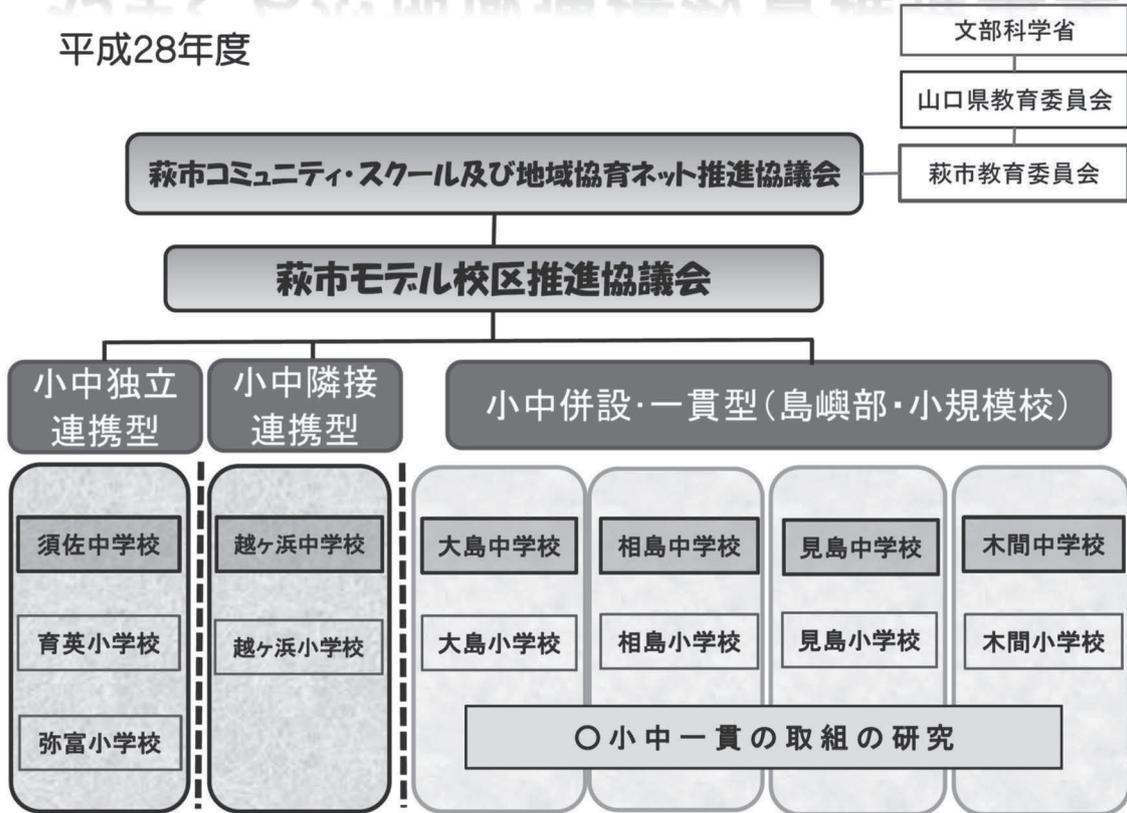
～今も昔も志高く～

② 推進体制



やまぐち型地域連携教育推進事業

平成28年度



C・Sコンダクターの役割

【小中独立・連携型モデル校】

- 学校課題の解決に向けたプロジェクト型校務分掌組織導入への支援
- 各中学校区における「小中合同学校運営協議会」の開催への支援
- 9年間の学びや育ちを系統的にとらえた「小中連携カリキュラム」の作成・実施への支援

【小中併設・一貫型モデル校】【小中隣接・一貫型モデル校】

- 小中一貫型の学校における課題解決のための校務分掌組織導入への支援
- 小中一貫型地域における「小中一貫カリキュラム」作成への参画・支援
- 「小・中共通の視点での学校評価票」の作成・実施への支援

【モデル校以外の学校】

- 要請に応じて、モデル校区以外への学校への支援

【共通取組事項】

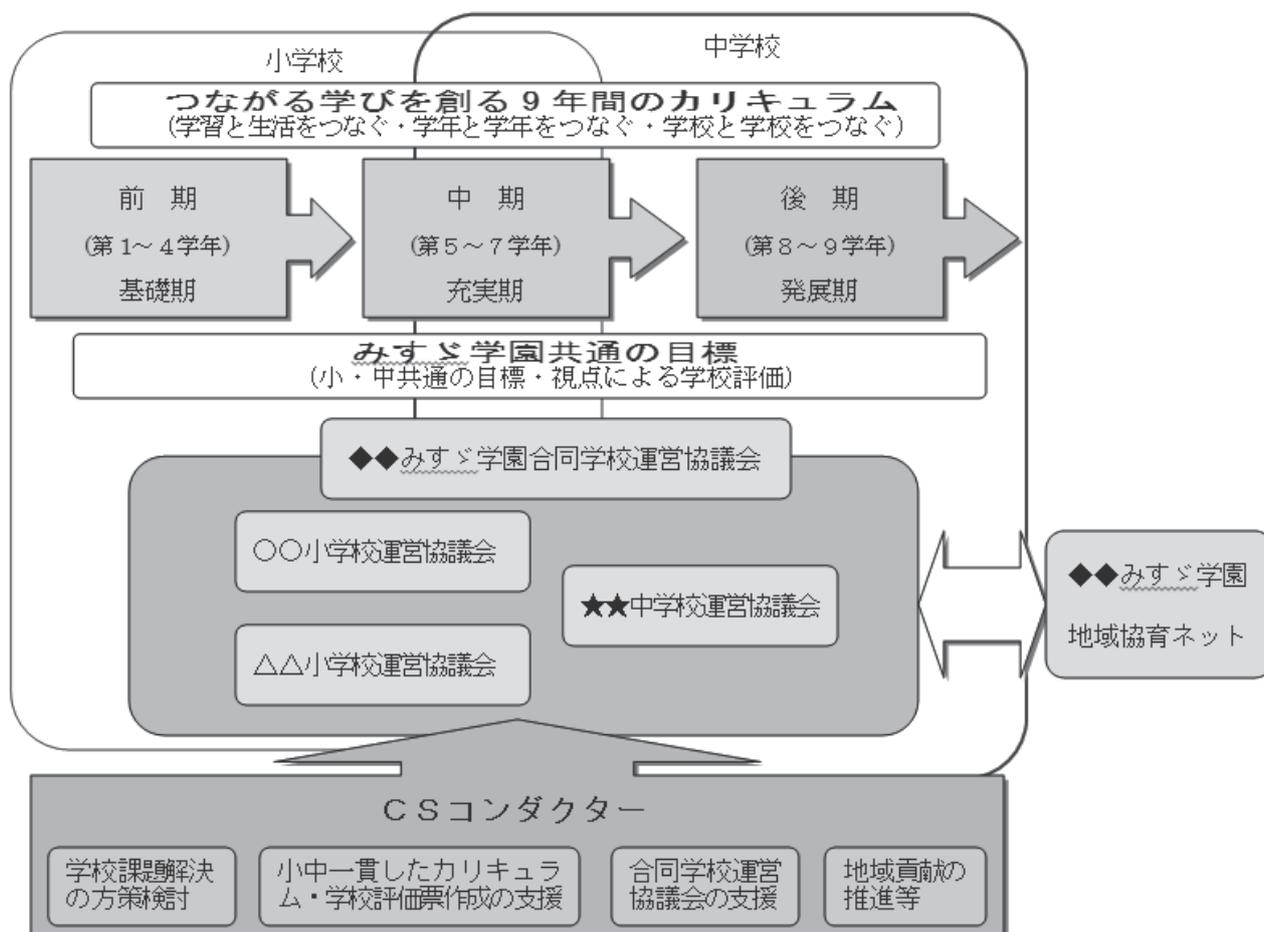
- 学校運営協議会への参加と「熟議のもち方」等、学校の取組への助言
- 「小・中共通の視点での学校評価票」の作成・実施への支援
- 地域協育ネットにかかわる支援

平成28年度長門市 学校運営協議会の機能を生かした取組の推進

1 推進の概要

市内各中学校区（みすゞ学園）で地域住民と教職員が学校の課題を共有し、協働して課題解決にあたる仕組みを成熟させる。また、コミュニティ・スクールを核として地域協育ネットの活用を図りながら、9年間の子どもの学びや育ちを支援していく。そのために、CSコンダクターが中心となり、各学校や各中学校区（みすゞ学園）に対して指導や助言、情報提供等を行っていく。

2 推進構想図



3 教育委員会の具体的な取組等

- 学校運営協議会への参加、助言（CSコンダクター、担当者）
- 山口県が主催する研修会等への参加（学校運営協議会委員、教職員、担当者）
- 各中学校区教職員による小中合同研修会の実施、カリキュラムの見直し等の助言
- 全小中学校保護者や地域住民等を対象としたコミュニティ・スクールに関する意識調査の実施、集計結果の分析、ウェブページでの公開
- 館長を中心とした学校のニーズに応じた地域協育ネット活用の啓発
- コミュニティ・ルーム等、地域住民の居場所づくりの奨励

長門市地域協育ネットの概要

1. 地域協育ネットとは

山口県が平成23年度から提唱。「概ね中学校区を単位とした、子どもたちの15年間の育ちを地域ぐるみで見守り、支援するための仕組み」

山口県教育振興基本計画～未来を拓く たくましい「やまぐちっ子」の育成～

緊急・重点プロジェクト：⑨地域ぐるみの教育推進プロジェクト

- (1)学校・家庭・地域の連携により子どもたちの育ちを支援する「地域協育ネット」の推進
- (2)開かれた学校づくりを推進する「コミュニティ・スクール」の普及・促進

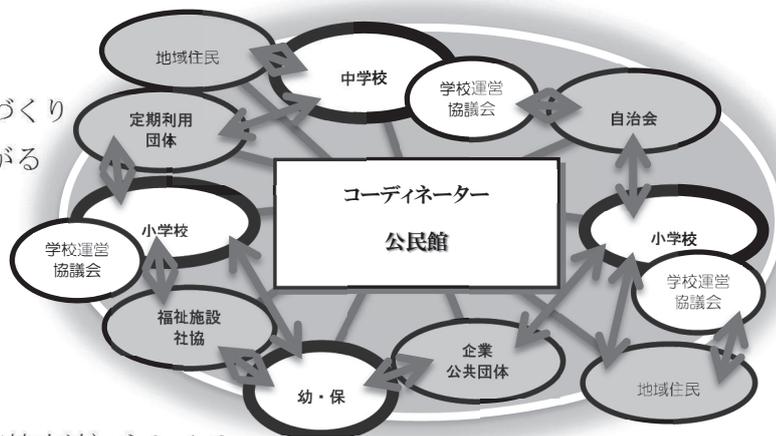
2. 長門市の地域協育ネット

市内の中学校区と公民館の範囲がほぼ等しいことから、公民館が持つ既存の組織を推進母体とし、コーディネーターは各公民館の館長又は主事が担当。

学校のニーズに合わせ、地域住民の支援の輪を広げる。公民館を介す支援と、公民館を介さない支援の形がある。

3. 目的・効果

- ① 地域ぐるみで子どもを育む意識の輪づくり
→公民館が関わることで支援の輪が広がる
- ② 生涯学習の成果の生きた活用
→地域社会における居場所づくりや、生きがいをつなげる



4. 支援の流れ

- ① 従来通りの人材確保（学校からの直接交渉）もしくは、
公民館を介しての人材確保（公民館は人材バンクの中から紹介、活動内容等の説明の後に連絡先を交換）
- ② 学校から支援者に正式依頼
- ③ 実施後は学校から公民館に報告
- ④ 公民館から生涯学習スポーツ振興課へ報告（集約）

5. 消耗品・切手の支給（後日文書送付）

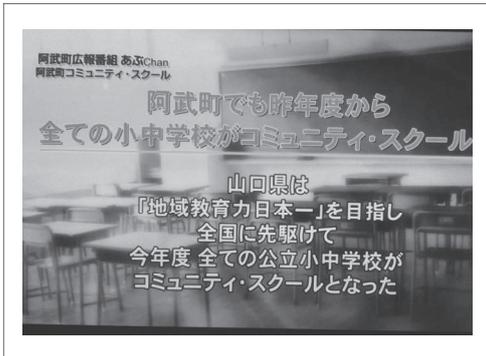
必要な消耗品の購入：各校上限5,000円、切手：82円×40枚

6. 研修会の開催

教職員や公民館職員をはじめ、学校支援関係者や公民館の企画運営に携わるものを対象とした研修会を実施し共通認識を深め、資質の向上を図る。

③ 市町教育委員会の具体的な取組等

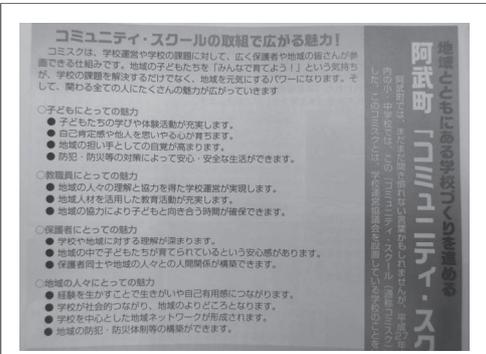
- ・ 各校が進めていくコミュニティ・スクールの取組において、好事例を紹介することにより、町内の平準化を図る。
- ・ 各校開催の学校運営協議会議が円滑に行うことができるように支援する。CSコンダクターに可能な限り会議に参加いただき、アドバイスを受ける。担当指導主事や社会教育主事が、各プロジェクトの会議等に参加する。
- ・ 県教委主催研修会への学校運営協議会委員の参加を促し、委員の資質向上を図る。
- ・ 平成28年度より、町内1中学校校区となったことから、保小・小中・中高連携教育等を積極的に進め、豊かな学びや健やかな育ちの系統的・計画的な取組やカリキュラムづくり行う。
- ・ 地域協育ネットと連携し、学校を核としながら、地域ネットワークが活性化するための支援を行う。
- ・ 役場担当課やケーブルTV等の報道機関の協力をいただきながら、各校のコミュニティ・スクールの取組を地域住民へ発信していくことにより、「地域とともにある学校」をアピールしていく。



萩ケーブルTVと共同で阿武町コミュニティ・スクール広報番組を作成した。



町内の小学校教員、学校運営協議会長、教育委員会職員等オール阿武町で出演した。



「広報あぶ」に阿武町コミュニティ・スクールの内容を掲載した。多くの町民に知らせることができた。



阿武町コミュニティ・スクール研修会を行った。各学校からの課題について熟議を行った。

学校運営に係る取組

萩市立椿西小学校



学校運営協議会委員と全教職員が3つのプロジェクト別に学校支援と地域貢献の視点で熟議を行った。学校・PTA・学校運営協議会のプロジェクトがリンクしているので、活動が継続・発展している。

萩市立木間小学校、木間中学校



学校運営協議会委員の参加によるユニット型研修を行い、児童生徒の課題や学力向上について熟議を行った。

萩市立相島小学校、相島中学校



学校運営協議会で協議した結果、今年度より、校内研究授業を保護者や地域の方に参観していただき、教員以外の視点から意見を聞くことができるようにした。このことによって、一層研究を深めることができた。

萩市立見島小学校、見島中学校



学校運営協議会で学校施設の有効な活用について熟議を行った。教職員とは別の視点での活用法のアイデアをいただいた。

萩市立川上小学校



8月の学校運営協議会で、川上の子の育ちを共有するための熟議を実施し、今後の活動の見通しをもった。

萩市立弥富小学校



年間2回の学校保健安全委員会では、学校運営協議会委員にも参加をいただき、子どもたちの基本的な生活習慣を身に付けるために大人ができることについて熟議を行った。

萩市立佐々並小学校



テレビ会議システムを使って、明木小・旭中とつないで第3回学校運営協議会を開き、2グループに分かれて熟議をした。

萩市立萩東中学校



今年度は年間8回の学校運営協議会を開催予定。9月開催の第5回協議会では「家庭学習の充実のために家庭とどのように連携を深めるか」という議題で、ブレイン・ストーミングの手法を取り入れて意見交換を行った。

萩市立旭中学校



旭中学校区小中連携カリキュラム(育ち・学びにおける共通実践項目)について、熟議を行った。

学校運営に係る取組

長門市立深川小学校



15名の学校運営協議会委員及び教職員全員が、3プロジェクト「学校環境整備支援」「学習支援」「安全見守り支援」に分かれ、熟議を行い実際の支援に生かした。

長門市立浅田小学校



学校運営協議会委員に、子どもたちの学習の様子を参観していただき、運営協議会において、成果や課題について意見交換を行った。

長門市立日置小学校



学校運営協議会では、「学力向上プロジェクト」と「生活・心の教育プロジェクト」の二つに分かれ、本校の取組について協議した。

長門市立神田小学校



学校運営協議会では三つの部会に分かれ、それぞれの事業計画が話し合われた。「ドキドキプロジェクト」では、子どもたちの泳力向上のために、地域指導者による水泳教室が計画・実施された。

長門市立日置中学校



年5回開催の学校運営協議会では、学力向上・心身安全・地域連携の3グループに、保護者・地域の方・教員が分かれ、熟議を行う。学校公開日のアイデアや絵手紙教室の協力等、成果が表れている。

阿武町立阿武小学校



地域の方を対象とした「給食食べちゃおう会」を実施した。昔の給食や学校の様子などを聞きながら一緒に給食を食べ、地域の方との交流を深めた。

志を育てる「学校・地域連携カリキュラム」づくり

萩市教育委員会 山口CSコンダクター 池田 廣司



「志を立てて、もって万事の源となす」と書かれた萩市の「志シート」。子どもたちは、このシートに自分の夢や志を記入して、二分の一成人式、立志式を迎える。ある学校の数年前の立志式には、教職員と保護者だけが参加していたが、今年度は、校区の小中学校の校長や地域の人々の姿も多く見られた。10歳、14歳の子どもたちが語る夢や志の内容は、これまで学校・家庭・地域が子どもたちにどう関わってきたかのバロメーターでもある。そういった意味では、これら立志に関する教育活動は、志を育てる大切な「学校・地域連携カリキュラム」として位置付ける必要があると考える。

今後、学校運営協議会及び小中合同による学校運営協議会は、次代を担う子どもたちを育てる上でも、育てたい子ども像を中学校区で共有し見守ることに加えて、目の前の子どもの姿を通して小中が連携したカリキュラムづくりにも参画していくことが大切であろう。

学校支援に係る取組

萩市立椿西小学校



学校運営協議会の熟議から、毎月「掃除 week」を設け、保護者や地域のボランティアの方に児童の掃除の基本や心構えを指導していただいている。児童の掃除への取組が少しずつ意欲的になってきた。

萩市立白水小学校



「ときわサロン」のお年寄りの方々が、萩市立図書館職員の指導のもと、学校図書の本の整理活動を行った。

萩市立三見小学校、三見中学校



学校運営協議会が中心となり、地域の方々に呼びかけ、学校環境美化活動を行った。

萩市立大島小学校、大島中学校



大島漁協の支援のもと「定置網引き上げ体験」や漁獲した魚を調理し島の特産品（押し寿司）を作る体験学習を行っている。島の主な産業である漁業を実際に体験することで島の豊かさを実感し、郷土に誇りをもつことのできる活動となっている。

萩市立相島小学校、相島中学校



毎年小学校では、相島の特産であるスイカの栽培を行っている。今年も、その活動を地域の方に支援していただいた。この写真は、ビニールトンネルを設置し、ひもで固定している様子である。より専門的な指導のおかげでとても大きなスイカを育てることができた。

萩市立見島小学校、見島中学校



小中合同研修会を開催した。小学校3・4年生の複式による国語の授業に地域の方や保護者に児童役として参加していただき、活気のある授業となった。午後の研究協議にも参加していただき貴重な意見をいただくことができた。

萩市立多磨小学校



地元の「里のふれんど友の会」が、1、2年生が育てるサツマイモ、落花生の苗の手配、植え付け指導をしている。秋には、会長の畑でたくさんの作物を収穫させていただき、子どもたちは大喜びだった。

萩市立むつみ小学校



本校の特色ある農業体験活動である学校田での米作りや野菜作りに、たくさんの地域の方に協力をいただいた。

萩市立むつみ中学校



むつみ神楽保存会の方に指導をしていただき、文化祭で神楽を発表した。

学校支援に係る取組

長門市立向陽小学校



全校児童が、地元の萩焼作家の指導を受け、作陶体験をした。「萩焼 長門深川窯」を有する郷土の文化に親しんだ。

長門市立俵山小学校



公民館だよりで広報し、学校支援ボランティアに登録いただいた方に草取りや樹木の剪定などの環境整備をしていただいている。

長門市立浅田小学校



月2回の水曜日の放課後、「浅田寺子屋」が開かれ、子どもたちの学習を見ていただいている。子どもたちは、集中して宿題に取り組んだ。

長門市立油谷小学校



3年生になって初めて習う毛筆の授業で、児童の活動支援をしていただいた。

長門市立向津具小学校



「三世代交流田植え」を行った。秋には稲刈り、冬には餅つきをして、地域の人との交流を深めた。

長門市立三隅中学校



地域の団体「三隅を守る会」の支援を得て、保護者、生徒、教職員、地域の方々による大がかりな本校グラウンド整備を行った。

成果が実感できるコミュニティ・スクールをめざして

長門市・阿武町教育委員会 山口CSコンダクター 藤本 憲司



現在、どこの小・中学校でもコミュニティ・スクールは当たり前になってきている。しかし、成果を実感できているかという点については疑問も残る。そこで、成果が実感できるようにと、学校へ地域の人たちが来ることによってこんなよいことがあったという成果を可視化していくことに各学校は努めている。

具体例としては、①地域の人たちを指導者に全クラブ活動を進めている小学校、②地域の人たちとの取組が振り返られるようにと、コミュニティルームに活動のコメント入りの写真を掲示している学校など、各校とも成果が実感できるよう工夫して取り組んでいる。今後も、学校と地域がこんなことはよかったということ共有していけるように努めていきたい。

地域貢献に係る取組

萩市立明倫小学校



国指定史跡である御船倉を舞台に行われた地域行事「浜崎伝建おたから博物館」で、6年生有志が地元の方々や観光客の方々の前で朗唱を披露し、地域の活性化に貢献するだけでなく、参加した子どもたちにとっても心に残る体験になった。

萩市立椿東小学校



松陰神社で行われた全国フラワー都市交流会の歓迎セレモニーでは、5・6年生が、歓迎の言葉を述べた後、松陰先生の言葉の朗読と萩市にある世界遺産を紹介する手作りパンフレットのプレゼントによるおもてなしをした。大変喜んでいただき、子どもたちは、充実感を味わっていた。

萩市立越ヶ浜小学校



子どもたちのふるさと学習の一環として行う「笠山椿まつりボランティアガイド」の取組に対して、地域の方、保護者に事前指導やアドバイスをしていただき、当日は自信をもってガイドを行うことができた。

萩市立木間小学校、木間中学校



地域主催の音楽祭に向けて、地域住民による合唱団結成や練習などの活動を支援し、地域行事を盛り上げた。

萩市立三見小学校、三見中学校



地域の一員として自覚を高め、美しい環境づくりへの意識を高めるため、地域の人に参加していただき清掃活動を行った。

萩市立大井小学校、大井中学校



大井のふるさと祭りに生徒会・中学3年生の生徒が初めて出店した。地域の方とふれあい、また地域を活性化する地域貢献となった。

萩市立育英小学校



地域に伝わる神楽舞が小学生により復活し、地域のお祭りで披露することができた。

萩市立明木小学校



地域行事「明木農業文化祭」に参加して合唱を披露し、明木地域に元気を届けた。

萩市立福栄小中学校



道の駅“ハピネスふくえ”の立体花壇に鉢花で文字を描く作業を、小学部5年生から中学部3年生が行い、大変喜ばれた。

地域貢献に係る取組

萩市立越ヶ浜中学校



週2回(月・金)の地域早朝ランニング「おはようランニング」を実施し、地域へ元気を届けた。

萩市立須佐中学校



生徒会執行部の生徒が地域の祭りの実行委員として企画・運営に携わり、地域の活性化に大きく貢献した。

長門市立仙崎小学校



毎年、地域で行われる「みすゞ七夕笹まつり」では、全校児童が笹飾りをつくり参加している。特に、4年生は、みすゞ学習の発表、5・6年生は、マーチングバンド演奏、瀬戸崎組鯨唄で祭りを盛り上げている。

長門市立明倫小学校



6年生が地区のクリスマス会を企画した。当日は公民館に100名を超える地域の方が集まり、楽しいイベントとなった。

長門市立神田小学校



遠泳大会に向けた海慣れに合わせ、海岸清掃を児童・教職員、保護者、地域住民が一緒に行った。海藻を刈ったりこけをすり落としたり、遠泳大会の会場づくりとともに船の陸揚げ場はきれいになった。

長門市立仙崎中学校



全校生徒を対象にボランティアを募り、地域の独居老人宅にお弁当を届けた。毎年実施しており、公民館・婦人会の方々と協力して行った。

長門市立深川中学校



公民館祭りの準備・運営の協力をした。重いパネルの運搬・設置が好評だった。

阿武町立福賀小学校



全校児童で取り組む「ふるさと夢太鼓」を「阿武町敬老の日大会」で披露した。「福賀大農業祭」や産土神社の例祭でも披露し地域の方に喜んでいただいた。

阿武町立阿武中学校



福賀地区の鯉のぼり立てでは、地域の方と一緒に鯉のぼりを立てた。

学校(園)が連携した取組や地域ぐるみの取組

萩市立明倫小学校



町内子ども会地区長(児童)、見守り隊、学校運営協議会委員、民生委員、主任児童委員、PTA校外指導部、PTA執行部、教職員が一堂に会し、「よりよい地域・学校にするために登校班ができること」をテーマに熟議を行った。

萩市立越ヶ浜小学校、越ヶ浜中学校



本年度で46回目を迎えた地域をあげての伝統行事である和船競漕大会に向けて、児童生徒は地域の先輩方から船の漕ぎ方や心構え等を学んでいる。

萩市立大井小学校、大井中学校



今年は、大井小中合同運動会に地域の方が出場される競技を3つ取り入れた。多くの方に競技に参加していただき、大変にぎやかな運動会となった。

萩市立大島小学校、大島中学校



毎年島で行われる島民運動会。学校の運動会とは別に企画されたものであるが、大島小・中学校の児童生徒も参加している。プログラムの中に小・中学校の運動会で披露した演技や競技を取り入れ、運動会を盛り上げる一役を担った。

萩市立小川小学校



児童・教職員・保護者・地域が一体となって取り組む「小川っ子祭り」では、学習発表や神楽の披露、餅つき等、子どもから高齢者まで総勢約200名が楽しんだ。

【ゆずきちネット】

萩市立多磨小学校、小川小学校、田万川中学校、田万川保育園



中学校区内の小・中学校・保育園が連携し、子どもたちに身に付けさせたい力を共有して「家庭学習の手引き」を作成した。地域協育ネット協議会や各学校運営協議会が主体となって各家庭に配布し、それぞれの立場で共通実践を進めている。

萩市立福栄小中学校、福川保育園、紫福保育園



夏休み恒例のチャレンジ・ザ・ヘルスでは、地域の方にご指導いただきながら、体に良い団子づくりに挑戦し、おいしくいただいた。

【夏柑ネット】

萩市立萩東中学校、椿西小学校



椿西小学校で『夏休み学びっ子教室』が開かれ、3日間で本校から20名を越える生徒が参加した。「教えることは学ぶこと」というように、小学生に教えることで、自分自身の学習を見直す契機にもなった。

長門市立通小学校、仙崎小学校、仙崎中学校



3校が同一時期に「あいさつこだまキャンペーン」を行った。保護者や地域の方の協力も得てあいさつ運動の推進を図った。

学校(園)が連携した取組や地域ぐるみの取組

長門市立仙崎小学校



今年、災害発生時の対応方法の習得と防災意識の高揚、防災関係機関相互の連携強化を図ることを目的として、総合防災訓練を行った。当日は、参観日としていたので、児童・保護者とも防災意識を高めることができ、地域とのつながりを深めることができた。

長門市立日置小学校、神田小学校、日置中学校、日置保育園、黄波戸保育園



日置中学校区の保・小・中が一緒に「日置地区災害避難訓練」を実施した。小・中学生の代表が消防署の指導の下、はしご車による救出訓練を体験した。その後、体育館で「地域防災について」の話聞いた。

長門市立仙崎中学校



1、2年生を対象に、地域の消防団、消防署、公民館等と連携して消防訓練を実施した。

長門市立日置中学校



日置地区で行われるふれあい運動会では、全ての年代の方が参加し、楽しい交流が図られている。中学生もボランティアスタッフとして活躍したり、競技に参加したりと地域の行事を盛り上げていた。

長門市立菱海中学校、油谷小学校、向津具小学校



第2回のブロック研修会において、小・中の教員で指導案づくりの研修を行った。ブロック内の児童生徒の課題を共有し有意義な研修会となった。

阿武町立阿武小学校、阿武中学校、みどり保育園



保・小・中合同の地震・津波対応避難訓練を実施し、中学生による園児や低学年児童の避難誘導、負傷者(想定)の移動支援を行った。

大人も子どもたちと一緒に世界を広げよう

萩市立萩東中学校区 統括コーディネーター 小崎 由紀

今から4年前に、「地域協育ネット」(通称：夏柑^{なつかん}ネット)がスタートしました。この間、幼保から小中とつながるタテの連携、学校と地域とのヨコの連携を関係者の皆さんとともに紡いで参りました。その中で思ったことは、「形だけの連携ではダメ」ということです。それは、子どもたちとの関わりを育むタテの取組と、地域・学校・家庭という立場の違う大人同士が、楽しく取り組むヨコの取組も同時に紡がなくては、地域に根差した連携につながらないということです。大人が楽しく活動していることを子どもたちに見せ、皆の笑顔から、この萩に生まれて良かったと思えるような、「夏柑ネット」でありたいと願っております。これからも大人も子どもも一緒になって成長し、素晴らしい未来をともに広げたいと思います。



